

## 千葉第2キャンパス 看護栄養学部 平成24年度トピックス

4月1日千葉県文化会館にて入学式が行われ、看護学科112名、栄養学科72名、合計184名が入学した。栄養学科の開学に伴い、学部名称が「看護学部」から「看護栄養学部」に変更された。さらに4月24日には2号館落慶式および栄養学科開学式が行われ、熊谷俊人千葉市長も臨席された開学式では、女子栄養大学副学長五明紀春先生により、「セキュリティーとしての食文化」と題する記念講演会が行われた。

毎年新入生が学長から直接お話をうかがう機会として学長オフィスアワーを設けている。今年度は10月25日（栄養学科）、11月1日（看護学科）に実施した。栄養学科のオフィスアワーでは、栄養学科がなぜこの地に造られたのかというお話をうかがうことができ、1年次生にとって有意義な機会となった。

本学客員教授牧野正直先生によるハンセン病に関する講義を毎年特別講義の形で行っており、本年は「病気と人権 ―ハンセン病について」というテーマで12月3日（月）看護学科2年次生を対象として実施した。

9月23日、香川栄養学園主催、文部科学省後援による家庭料理技能検定が本学で行われ、3級試験を21名が受験し10名が合格した。4級試験は4名が受験し1名が合格した。その後3級に合格した学生のうち3名が成績優秀者として表彰を受けることとなり、2月19日、石野未来、紫関菜摘、本間桜子の3名が香川栄養学園での授賞式に臨んだ。

11月29日（木）、栄養学科テーブルマナー講座をホテルニューオータニ幕張にて栄養学科1年生を対象として行った。テーブルマナーだけでなく、生活の中でのマナー、エチケットについても学ぶ機会となった。

10月27日（土）に大学協賛会との共催で本学部にて開催し80名の保護者の参加があった。内容は学部の教育方針、大学の状況についての説明、学科別懇談会であり、その後アドバイザー教員等が個人面談を行った。

11月5日（月）、千葉市中央消防署の秋季消防演習と共催という形で本キャンパスを会場とした防災訓練が大規模に開催された。本学部としては2号館が竣工されてからははじめての避難訓練で、大きな混乱はなかったが、日頃より防災訓練を繰り返し行ってゆく必要性を痛感した。

7月29日（日）に卒業生のアフターケアを目標としたホームカミングデイを行い23年度卒業生63名をふくむ75名が参加した。内容は、宮子あずさ氏に「ナース主義！ 看護師だからできる生き方・考え方」と題する講演をしていただいたあと、それぞれが働く専門領域に分かれての情報交換会、全体での懇親会を行った。

AO I～III期入試、および推薦入試で合格した入学予定者を対象に例年行っている入学前準備セミナーおよび保護者説明会を12月22日（土）に開催した。目的は入学までに補うべき課題を示して学習を促すことにあり、看護学科入学予定者61名のうち58名、栄養学科70名のうち69名が参加した。

例年行ってきた千葉東病院クリスマスコンサートは、新設の千葉東病院重症心身障害児（者）病棟ホールにて12月20日（木）に行われ、看護学科1年次生のうち音楽を選択している20名が参加しミュージックベルの演奏、コーラス等を行った。また、淑徳共生苑でもニューイヤーコンサートを1月10日に開催した。

開学1年目に看護川柳大賞としてはじまり、2年目からは看護川柳コンテストとして昨年度を除き、継続的に行われている。今年度は1,000句を越える応募があり、大賞1、優秀賞1、佳作3句が選ばれ、9月のオープンキャンパスの際に表彰した。

## 1 教育課程

関連委員会	看護栄養学部 教務委員会
関連部署	
関連データ	

## 1 平成24年度 活動方針・目標

## ACTION PLAN

今年度は、平成22年、23年、24年度入学生の3つのカリキュラムで運営するので履修、成績、進級、卒業に関する事項を円滑に進め、評価し、来年度に向け課題を明確にする。

- ① 地域看護学の科目が選択制になることによる規程の改正で起こる諸問題に対処し、円滑に推進する。
- ② 23年度入学生が2年生になり、カリキュラム変更に伴い、後期の問題等あれば早期に対処する。
- ③ 24年度入学生のカリキュラム改正による実習場の確保などの検討（基礎、老年、成人などの実習期間や形態の変更）、また新しい講師との交渉を開始する。
- ④ 3、4年生の留年生に対する指導を強化する。
- ⑤ 成績に関すること、進級・卒業に関する判定を協議し、円滑に進める。
- ⑥ 入学前教育の在り方について検討する。

## 2 具体的計画

## PLAN

- ① 選抜に関する、面接や小論文などの評価と学生への提示方法の検討を行う。
- ② 新しい科目や講師の問題など事務部門と協力し対応していく。
- ③ 実習形態が変更になるので実習場の確保（26年の実習準備）を始める。
- ④ 3年生の実習での問題など教員会議などで情報収集しまたアドバイザーとも共通認識で対応指導する。4年生は国家試験に向けてキャリア支援委員会とともに指導強化する。
- ⑤ 単位認定者会議において、成績や履修態度などの情報を洗い出し、成績判定を行う。
- ⑥ 入学時の学力レベルに差があり、1年次前期から成績が低迷している学生がいることから入学前教育の強化をする。企業からの情報収集等を行う。

## 3 取組状況

## DO

- ① 地域看護学の選択制にかかわる事項  
8月29日選抜試験を実施した。小論文と面接を実施した。事前の履修希望者は45人、当日受験者が41人、30人を合格とした。
- ② 3つのカリキュラムが進むことでの問題  
23期入学生の留年生を極力出さないための方策を講じる必要が出てきた。成績低迷者や看護職になることを悩んでいる学生について教務と教育アドバイザーの連携を密にして面接等を行った。
- ③ 24年度入学生のカリキュラム改正による実習場の確保（26年実習）  
成人看護学実習Ⅰの実習場確保として、現在進行形で要望している。
- ④ 3、4年生の留年生に対する指導を強化する  
キャリア支援委員会において、模試を行ったり成績低迷者に対しては寺子屋など開設、また、4年生には国家試験の専門領域の補講などが行われた。
- ⑤ 成績に関すること、進級、卒業に関する判定  
教務委員会でも追実習者の記入漏れや成績の入力ミスなどがあった。確認の方法を検討する必要がある。
- ⑥ 入学前教育の在り方について  
今年度から入学前セミナーの時に（12月）、入学までの期間を勉強するようにオリエンテーションで伝えた。その日の試験結果（生物、化学）を伝え、テキストを渡して入学までの課題を提示し、必ず提出するようにした。その結果、第1回の提出日には全員提出された。

⑦ その他

特例として病気休暇中の学生に対しての期末試験の対策について検討した。

#### 4 点検・評価

CHECK

① 地域看護学選抜試験

二つの問題が残った。1は面接試験に採点しにくい内容が含まれていた。2に試験室ごとの平均に差が生じた。再検討の必要がある。

② B 1 (23年度入学生) 4名が25年度復学する。(前期と後期あり)

③ これまでに22病棟、6施設各5人から6人の学生配置で了解を得ている。

④ 留年生への対応としてアドバイザーによる面談回数を増やすなどの指導強化を行った。

⑤ 追実習者の記入漏れ等が生じたことにより、再度教務委員会でチェックを強化する。

⑥ 今年から入学までの課題を増やしたが、予定通りに進行した。

⑦ 入院治療した学生の期末試験の方法の検討を行い、受験でき進級することができた。

今後も個別に対応が必要な学生には特例として対応していく。

#### 5 次年度に向けた課題

ACTION

① 第2回地域看護学選抜試験の検討。

② 老年実習 I (25年) が始まるので、教員全員が周知しておく。

③ 成人看護学実習 I (26年) の実習場確保。

④ 成績低迷者への指導強化(学習支援委員会との共同)。

⑤ 看護を発展させる科目(26年より)開始に伴い内容、講師の検討。

⑥ 栄養学科は基礎学力の不足する学生に対しての強化策を講じる。

以上

## 2 教育組織

関連委員会	看護栄養学部 教育向上推進委員会 自己点検評価委員会
関連部署	
関連データ	・ Faculty Development 成果報告書 平成24年度看護栄養学部

## 1 平成24年度 活動方針・目標

## ACTION PLAN

- (1) 建学の精神、および教育方針を確認することにより、看護栄養学部が目指している教育の方向性を共有し、個々の授業および学習指導に活かしていく。
- (2) 学部の教育・研究水準の向上および管理運営の健全化のため、各学科、各委員会の活動にPDCAを義務付ける。

## 2 具体的計画

## PLAN

1. 目標(1)に対して
  - 1) 授業アンケート
    - ① 前年度アンケートの評価・分析。
    - ② シラバスの検証。
    - ③ 学生が授業に興味・関心を持てるようにするための努力や工夫に関する情報の収集。
    - ④ アンケート結果のフィードバック方法について検討。
  - 2) 教員研修会
    - ① 教育のあり方に関する方策の検討。
    - ② 研究活動・成果の共有および、研究活動推進のための方策の検討。
  - 3) 授業公開
    - ① 教員の相互研鑽、教育理念との関連づけ、科目間の連携・調整に役立っていることの検証。
2. 目標(2)に対して
 

各学科、各委員会から7月中に活動計画を提出させ、自己点検委員会で点検し、年度末に報告書の提出を義務付け、自己点検評価委員会で点検評価する。

## 3 取組状況

## DO

1. 目標(1)に関して
  - 1) 授業アンケート：
    - ① 前年度のアンケート結果を分析した結果、教員は学生の興味・関心や理解度、予習・復習などの努力を的確に把握しているが、教員の努力が学生の学習成果に有効に反映していない面があることが明らかとなった。
    - ② 「シラバス通りに授業は行われましたか」という項目を追加した。
    - ③ 前学期授業参観報告書や学生へのグループインタビューで評価の高い教員から、具体的な工夫に関する情報を得た。
    - ④ 年度初めの学年別オリエンテーション時、学生へのフィードバックを行った。
  - 2) 教員研修会：全5回の開催。
 

第1回、第2回のテーマはそれぞれ、「建学の精神について」、「本学の認証評価について」とした。全教職員が参加。

第3回：教員の研究活動の推進に向け、科研費補助金獲得のためのポイントを理解することを目的に、補助金獲得経験者によるパネルディスカッションを実施した。参加教員33名。

第4回：「ファシリテーターの役割」をテーマに、学外講師による講演を実施した。参加教員29名。

第5回：昨年度実施した「学生の現状、教育の現状に関するアンケート」に基づき「カリキュラム・ディプロマポリシーの共通理解」と、それに基づいた「教育とは何か」について、協働、実践力、専門性、健康の4つのキーワードをもとにグループワークを実施した。参加教員33名。

## 3) 授業公開

助教以上の教員はすべての授業を公開し、参観者は「授業参観の観点のリスト」を参考に「公開授業・授業公開参観成果報告書」を作成した。「授業参観の観点のリスト」に、「教育理念の実現のための取り組みや工夫について」を追加した。同領域間2件(5.7%)、他領域間33件(94.3%)の参観が行われた。

## 2. 目標(2)に関して

各学科、各委員会の活動計画は、7月までにすべて提出され、9月の教授会で報告された。活動報告書は3月にすべて提出され、教授会で報告された。

**4 点検・評価****CHECK**

## 1. 目標(1)に関して

授業アンケートは、前年度のアンケート結果の分析結果について、本学部紀要に投稿し掲載された。アンケートの分析結果をもとに、平成25年度の授業アンケートを大幅に修正した。教員研修会は、各研修会とも、実施後のアンケートにより、概ね職務に役立つ内容であるとの評価が得られた。授業公開は、相互研鑽、および科目間の連携や調整を図るという目的はおおむね達成された。

## 2. 目標(2)に関して

各学科、各委員会活動に関するPDCAサイクルは形としては確立された。

**5 次年度に向けた課題****ACTION**

## 1. 目標(1)に関して

授業アンケートの課題

- ① 新しいアンケート項目に関する妥当性を検証する必要がある。
- ② アンケート結果のフィードバック時、アンケートに協力して記載するだけでなく、結果についても興味・関心を持つよう検討する必要がある。

教員研修会の課題

- ① 教育環境が変化しているため、再度教員にアンケートを実施して、より教員のニーズにあった内容の研修会について検討する必要がある。
- ② できるだけ多くの教員が参加できるよう開催日程について慎重に検討する必要がある。

授業公開の課題

- ① 「教育理念と授業との関連づけ」に関する「教育理念の実現のための取り組みや工夫」について、今後も教員に浸透するように働きかけていく必要がある。

## 2. 目標(2)に関して

各委員会の活動計画については、次年度の学部、学科の方針と合致しているかについて自己点検評価委員会にて検討し、調整を行った後、教授会に提案する。

以上

### 3 学生の受け入れ（在籍管理）

関連委員会	看護栄養学部 入試広報委員会、学生厚生委員会
関連部署	千葉入試課、アドミッションオフィス
関連データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学部・学科、大学院研究科、専門職大学院の志願者・合格者・入学者数の推移（表3〔※表12〕）…………… P.186</li> <li>・学部・学科、大学院研究科、専門職大学院等の学生定員及び在籍学生数（表4〔※表13〕）…………… P.211</li> <li>・学部・学科の退学者数（表5〔※表14〕）…………… P.213</li> </ul>

#### 1 平成24年度 活動方針・目標

#### ACTION PLAN

入学定員を確保し、アドミッションポリシーに適った、質の高い入学者を確保する。

- (1) 栄養学科の次年度入学生が105%となるようにする。
- (2) 看護学科は前年並みの受験者を確保し、入学者の偏差値を上げる。
- (3) 入学後の学生の国語力低下が顕著であるため、国語を入試科目とするか検討する。
- (4) 入学実績等を考慮して指定校の見直しを行う。
- (5) 休学、退学に対する適正な指導を行う。

#### 2 具体的計画

#### PLAN

目標（1）について

- ① 高校主催のガイダンス、模擬授業などに積極的に参加する。
- ② オープンキャンパスの参加者数、県内高校の反応により、栄養学科教員が県内高校を訪問する。
- ③ 栄養学科に関する広報を積極的に行うよう、担当部署に働きかける。

目標（2）について

オープンキャンパスで好印象を与えるような対応を教員、アドスタッフに徹底する。

目標（3）について

他大学の入試科目を参考にしつつ、9月までに結論を出す。

目標（4）について

5月の入試広報委員会で指定校の見直しを行う。

目標（5）について

疾病などのやむを得ない事情により、休学、退学などがあるが、可能な限りそれらの事情を早く把握し、休学、退学にならないよう指導、助言する。

#### 3 取組状況

#### DO

目標（1）について

高校主催の模擬授業には栄養学科教員が4回参加し授業を行った。アドミッションオフィスによる高校訪問も功を奏してかオープンキャンパスでの来場者数が多かったため、栄養学科教員による高校訪問は行わなかった。

目標（2）について

オープンキャンパス実施後のアンケートにみられたコメントに対しては、その都度入試広報委員会で検討し対応した。

目標（3）について

他の看護系大学の入試科目、本学の受験科目と入学後の成績の関連などを検討し、入試科目に国語を必修とすることは見送った。

目標（4）について

看護学科は入学者の状況等を考慮して指定校の見直しを行った。栄養学科は入学実績等を考慮して新たに指定校を選定した。

目標（5）について

休学が2名、退学が7名あった。理由は経済的理由、疾病に罹患したこと、進路の変更、家庭の事情などである。復学は3名で、理由は事由解消である。

## 目標（1）について

6月から9月のオープンキャンパスは予定通り開催でき参加者平均は前年比149.5%と順調に伸び、栄養学科の受験者も一般入試やセンター利用入試において、3～6倍の倍率があった。結果として3月末で86名（107%）の入学予定者が確保できた。

## 目標（2）について

オープンキャンパスにおける模擬授業もアドスタッフの対応もともに好評であった。看護学科の受験者数はすべての入試で前年の倍率を上回った。また、予備校から出される入学者の偏差値予測は学部単位であるため、看護学科のみの偏差値は不明である。

## 目標（3）について

今年度国語について検討したように、入試科目や出題範囲については、高校の履修課程や入学後の成績等の状況の変更に合わせて逐次行う必要がある。

## 目標（4）について

指定校推薦入試で合格した学生の入学後の成績等の状況については継続的にデータを取り、分析していく。

## 5 次年度に向けた課題

## ACTION

- ① オープンキャンパスについては、県内の看護系大学はまだ増加の傾向にあり、他大学もさまざまな工夫をこらしているので、本学も工夫が必要である。
- ② 入学した学生の経年的な成績について、入試種別にデータを蓄積し、それぞれの入試に一定程度の受験者が確保できる状況であれば、次年度は入試種別の合格者数を慎重に見直す必要がある。
- ③ AO、推薦入試で入学する学生に学習習慣をつけ、基礎学力を向上させる必要性は大きいですが、次年度から学習支援委員会ができるので、これまで入試・広報委員会で行ってきた入学前教育については、そちらに引き継ぐ。

以上

## 4 学生支援

関連委員会	看護栄養学部 学生厚生委員会
関連部署	
関連データ	・奨学金給付・貸与状況(表6〔※表15〕)……………P.215    ・学生相談室利用状況(表7〔※表16〕)……………P.219 ・学部・学科の退学者数(表5〔※表14〕)……………P.213    ・課外教育補助等(表17〔※付表5〕)……………P.239 ・課外活動報告

## 1 平成24年度活動方針・目標

## ACTION PLAN

看護学科、栄養学科、両学科の学生の学習の奨励及び学生生活の支援をする。

- (1) 奨学金貸与者の適正な選考
- (2) 学生諸団体の活動上の指導

## 2 具体的計画

## PLAN

## 1) 奨学金給付及び貸与者の適正な選考

淑徳大学特別給付奨学金、淑徳大学一般給付奨学金、淑徳大学貸与奨学金、淑徳大学千葉協賛会奨学金及び日本学生支援機構奨学金などがある。その選考に当たっては、奨学金のそれぞれの目的に応じ対象者に給付されるよう、適正な選考を行う。

## 2) 学生諸団体の活動上の指導

本学部の学生団体活動は主として学外施設を利用して行われている。本委員会として、諸団体の日常活動を把握し、適切な指導を行う。

## 3 取組状況

## DO

## 1) 奨学金給付及び貸与者の適正な選考

116名の学生に対しての各種奨学資金貸与の選考と、24名の学生に対しての千葉県保健師等修学資金貸与に対しての推薦を行った。選考・推薦に当たってはGPA、経済状況、健康状態、勉学に対する意欲、面接等を鑑み判断した。

## 2) 学生諸団体の活動上の指導

新たに、yippee(ヤッピー)の届け出があり、全☆My☆ティ、MIKFY-ASH、Shukutokids、NEOの5団体が承認されている。これらの活動に対して、適切な活動を行うように、顧問及び本委員会などを通じて指導した。

## 4 点検・評価

## CHECK

## 1) 奨学金給付及び貸与者の適正な選考

奨学資金等の貸与については、経済的な生活状況が厳しい状態にありながら、申請の遅れや、大学からの指導で申請するなど自覚や主体性が欠ける学生も見られた。そのような学生の指導を今後徹底したい。

## 2) 学生諸団体の活動上の指導

学生諸団体の活動については、前年度は千葉東病院の施設を借用しての活動で、同病院より不適切な使用で2回ほど注意を受け、当該団体に対して活動停止処分などを行った。しかし、今年度はそのような指摘も受けず、活発な団体活動が進展したと考える。団体顧問の先生の指導の徹底と学生の自覚などが認められたと考える。なお、交通事故、事件などに巻き込まれた学生は見られなかった。

また、本キャンパスを会場とした大規模な消防訓練に対しても、学生の積極的参加が見られたのも評価できると考える。

健康面でみると、特にインフルエンザが県内を中心に流行が見られたが、定期試験における同感染者の欠席は数人であったことは、関係教員の指導及び学生の予防意識の高まりがあったと考える。



両学科の学生の学習の奨励及び学生生活の支援をするため、次年度に向けて以下のような目標を掲げる。

- 1) 奨学金貸与者の適正な選考
- 2) 学生諸団体の活動上の指導
- 3) 休学、退学などの適正な指導
- 4) 学生相談・健康相談への対応
- 5) 龍澤祭への参加
- 6) その他 学生厚生に関連する項目

以上

## 5 就業支援

関連委員会	看護栄養学部 キャリア支援委員会
関連部署	
関連データ	・就職・大学院進学状況(表8〔※表17〕)……………P.220 ・国家試験合格率(表10〔※表19〕)……………P.222 ・卒業生の進路 福祉・医療関係(表14〔※付表1〕)……………P.227

## 1 平成24年度 活動方針・目標

## ACTION PLAN

- (1) 看護師国家試験合格率100%、保健師国家試験合格率85%を目指す。  
 (2) 就職内定率は例年通り100%を目指し、連携病院である国立病院機構千葉東病院への就職者を増やす(目標20名)。さらに、千葉県内の就職者を全体の60%以上にする。

## 2 具体的計画

## PLAN

- (1) に対して
- ・看護師国家試験模擬試験を5回、保健師国家試験模擬試験3回実施し、看護師国家試験模擬試験は全員受験することを前提とする。
  - ・学生が主体的に国家試験対策に取り組むための方略として、アドバイザーグループ単位で国家試験対策委員を2名ずつ選出し、学年全体で積極的に国家試験対策に取り組む体制を作る。
  - ・専門業者による看護師国家試験対策および保健師国家試験対策を早期から取り入れる。
  - ・保健師国家試験合格率をあげるための方略として、今年度は11月の国家試験願書提出前に、過去の模擬試験の結果が一定のボーダーラインに達していない場合は、保健師国家試験受験の再考を促す(看護師国家試験模擬試験において必修80%、一般・状況設定60%、保健師国家試験模擬試験55%の得点率に満たないものを対象とする)。
- (2) に対して
- ・卒業生からの就職活動に対するアドバイス…「4年次生からの国家試験、就職活動を下級生に語る会」を前年度3月に実施する。
  - ・学外で多数実施されている合同就職説明会への積極的参加を勧める。
  - ・千葉東病院就職ガイダンスを4月中旬に実施する。
  - ・千葉県内の実習病院を中心に、本学内で就職個別相談会を4月28日に実施する。それにより、千葉県内の病院に興味をもち就職希望者が増えるような環境づくりを行う。
  - ・看護学科の学生については、学生の個々の特性をふまえながら、その学生の持っている能力を最大限生かせるような、適切な職場探しを共に行う。
  - ・栄養学科においては、将来を意識した大学生活を送るために、1年次よりキャリア支援ガイダンスを実施する。

## 3 取組状況

## DO

- (1) に対して
- ・アドバイザーグループから国家試験対策委員を選出し、さらに全体を統括するリーダー、サブリーダーを置くことによって全学生が一丸となって国家試験受験に臨む体制を作ることができた。
  - ・今年度は1期生および2期生の留年生が12名残留しており、学習方法が確立されていない学生が多くみられた。専門業者による対策講座を6月、11月、12月、1月に分けて、本学の学生が弱い部分を強化しながら進めた。また6月の看護師国家試験模擬試験実施後、成績低迷者に対しては、集団および個別指導を頻繁に継続して行った。
  - ・保健師国家試験合格率を高めるために、上記のラインに満たない学生の個別面談を行い、年度当初の85名の受験希望から、指導の結果61名の学生の受験に留まった。

(2) に対して

前年度の3月の卒業式後、「4年次生から国家試験、就職活動を下級生に語る会」を実施した。合同就職説明会は例年通り2月、3月頃から自主的に参加する学生が多かった。

千葉東病院のガイダンスは4月12日に実施した。看護部長からの説明の他に、4月に本学から就職した15名から、千葉東病院における充実した新人教育、指導体制などを、卒業生の視点で語ってもらった。

就職個別相談会を4月28日に実施した。県内の25施設ほどの看護部責任者および採用担当者が来校し、学生に対する個別相談を実施した。

看護学科学生には、夏休み中には就職の内定を得られるように指導を行った。大半の学生は夏休み中には内定が得られ、国家試験対策に集中することができた。一方で積極的な就職活動をせずに、後学期になっても就職希望先が定まらない学生がいた。また就職試験を2度も不合格となった学生が複数おり、例年になく就職支援が難航した。

栄養学科では、1年次からの職業観の涵養のため、12月13日に「資格と仕事を知ろう」のテーマで、外部業者によるキャリア支援ガイダンスを実施した。

#### 4 点検・評価

CHECK

(1) に対して

看護師国家試験合格率は97.1%、保健師国家試験合格率は100%であった。

(2) に対して

就職希望者は100%就職することができた。また千葉東病院の就職は18名であった。

千葉県内の就職内定者は昨年度より増加し、67名(67%)であった。

#### 5 次年度に向けた課題

ACTION

(1) に対して

課題：看護師および保健師国家試験合格率ともに100%を目指す。

(2) に対して

課題：例年通り、就職率100%を目指す。また千葉東病院への就職希望者も20名程度を目標とする。

県内の就職希望者を60%には保つ。早期に就職活動に取り組むこと、また学生の能力や特性に合った就職支援を、アドバイザー教員と連携を強く持ちながら進める。

以上

## 6 社会貢献

関連委員会	看護栄養学部 地域連携委員会
関連部署	
関連データ	

第1部

III 学部・研究科等による取組み

2 千葉第2キャンパス

**1 平成24年度 活動方針・目標***ACTION PLAN*

- (1) 地域連携事業に積極的に取り組む。

**2 具体的計画***PLAN*

- 1) 千葉県のモデル事業である“松ヶ丘安心安全まちづくり”に関わる地域連携事業
- 2) 開学当初より実施している松ヶ丘地区の地域行事や地域活動への参画

**3 取組状況***DO*

- 1) 千葉県のモデル事業の一環として、地域の拠点“ふれあい広場ひだまり”において地域住民に対する健康・栄養相談、健康チェック、学生傾聴ボランティアを実施した。7月よりスタートし、月2回の割合で年間18回実施した。地域住民の総相談者数は延べ120名であった。
- 2) 学生による地域ボランティアを促進すべく、ボランティアサークルの立ち上げ、システム化を図った。学部学生登録人数は147名であった。

**4 点検・評価***CHECK*

- 1) 教員の地域活動への参加は協力的であり、教員間の地域貢献への意識の高まりが伺えた。
- 2) 地域行事等への参加も活発に行われた。学生・教員が参加した行事では、ほのぼの育児サークル、ふるさと祭り、敬老祝賀会、クリスマス会、独居高齢者いきいきサロン等に継続的に関わり地域貢献にその役割を果たした。

**5 次年度に向けた課題***ACTION*

学生のボランティア活動を継続的に展開できる仕組み作りとして、平成25年度から「淑徳大学看護栄養学部ボランティア講座」の開講準備を進め、今後さらに強固なボランティアの基盤づくりを行っていく。

以上